

# 宮城県感染症発生動向調査情報(第42週)

宮城県【平成26年10月23日】発行  
 宮城県保健環境センター  
 TEL (022)257-7228

— 2014.10.13 ~ 10.19 ・ 第42週 —

上段は患者発生数、下段は定点当り

疾 病	保 健 所								宮 城 県 (含む仙台市)					
	仙南	塩釜	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼	仙台市	患者数	累計	第39週	第40週	第41週	第42週
水痘	9 1.80	9 0.90	2 0.40	2 1.00	2 0.67	6 1.20		22 0.85	52 0.90	1,651	○ →	○ →	○ →	○
流行性耳下腺炎		1 0.10	1 0.20		2 0.67			10 0.38	14 0.24	549	→	→	→	
百日咳											→	→	→	
感染性胃腸炎	18 3.60	19 1.90	3 0.60	7 3.50	7 2.33	4 0.80	7 3.50	57 2.19	122 2.10	15,223	◎ →	◎ →	◎ →	◎
手足口病	1 0.20	3 0.30	1 0.20					11 0.42	16 0.28	350	レ →	→	○ →	レ
伝染性紅斑	7 1.40	1 0.10	4 0.80		5 1.67	7 1.40		17 0.65	41 0.71	2,130	○ →	○ →	レ →	○
突発性発しん	3 0.60	8 0.80	5 1.00	1 0.50	2 0.67	2 0.40	1 0.50	11 0.42	33 0.57	1,618	○ →	レ →	○ →	○
ヘルパンギーナ	2 0.40	7 0.70	2 0.40			2 0.40	2 1.00	10 0.38	25 0.43	2,394	◎ →	◎ →	○ →	レ
インフルエンザ	3 0.38							1 0.02	4 0.04	28,914	→	→	→	
咽頭結膜熱	1 0.20							6 0.23	7 0.12	568	→	→	→	
流行性角結膜炎		2 0.67				1 1.00		1 0.17	4 0.33	139	→	→	→	
急性出血性結膜炎											→	→	→	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 1.80	7 0.70	2 0.40			15 3.00		44 1.69	77 1.33	4,691	◎ →	◎ →	◎ →	◎
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)											→	→	→	
無菌性髄膜炎											→	→	→	
マイコプラズマ肺炎	1 1.00		2 2.00	2 2.00			5 5.00	1 0.20	11 0.92	351	→	→	→	
クラミジア肺炎(オウム病は除く)											→	→	→	
RSウイルス感染症	1 0.20	3 0.30			1 0.33	1 0.20		7 0.27	13 0.22	507	→	→	○ →	レ
拡 張 疾 病	マイコプラズマ肺炎(小児科)		2				6	2	◎：流行の変化について、今後の情報に十分注意 ○：発生または流行について、今後の情報に留意 レ：発生が少なくなっている傾向					
	川崎病	1						2						
	不明発疹症							2						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)※								52					

※ 法改正により、平成25年10月14日より、ロタウイルスが原因の感染性胃腸炎について、基幹定点より報告を求めることになりました。

## 今週の全数報告疾病

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 結核
  - 仙南管内 女性1名(第41週)
  - 塩釜管内 男性1名
  - 登米管内 女性1名
  - 仙台管内 男性1名
- 3類感染症: 細菌性赤痢
  - 仙台管内 女性1名
- 4類感染症: 報告なし
- 5類感染症: 後天性免疫不全症候群
  - 仙台管内 男性1名(第41週)
- 侵襲性肺炎球菌感染症
  - 石巻管内 男性1名(第41週)
- 水痘(入院例)
  - 仙台管内 男児\*1名

## 今週のインフルエンザによる入院患者報告(仙台市を含む基幹定点報告) 0例

### 今週の感染症のコメント

#### — 宮城県感染症対策委員会情報解析部会 —

【伝染性紅斑】  
登米、石巻管内で警報継続中。

#### 【病原体検出情報】

～宮城県保健環境センター～

感染性胃腸炎患者より  
塩釜管内 第40週採取分 アデノウイルス41型 1件

～仙台医療センターウイルスセンター～

	第40週採取分 (9.29～10.5)	第41週採取分 (10.6～10.12)	第42週採取分 (10.13～10.19)
バインフルエンザウイルス2型	3件	2件	0件
バインフルエンザウイルス4型	0件	1件	0件
RSウイルス	1件	4件	0件
エンテロウイルス	3件	0件	1件
ライノウイルス	1件	0件	0件

#### 【水痘】

水痘は、水痘・帯状疱疹ウイルス(VZV)の初感染によっておこる急性の伝染性疾患である。季節的には、12～7月に多く、患者の多くは9歳以下の年齢であるが、成人が発症すると重症になる場合が多いため、注意が必要である。

## 定点把握の対象となる5類感染症(全国 第40週)

(国立感染症研究所感染症疫学センターホームページより抜粋)

**インフルエンザ**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は沖縄県(0.79)、熊本県(0.43)、長崎県(0.39)である。基幹定点からのインフルエンザ入院サーベイランスにおける報告数は4例と前週と比較して増加し、3県から報告があった。**RSウイルス感染症**: 報告数は2,881例と減少した。年齢別では1歳以下の報告数が全体の約74%を占めている。**咽頭結膜熱**: 定点当たり報告数は第37週以降減少が続いているが、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い。都道府県別の上位3位は徳島県(1.52)、福井県(0.73)、沖縄県(0.65)である。**A群溶血性レンサ球菌咽頭炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加し、過去5年間の同時期と比較してかなり多い。都道府県別の上位3位は山口県(3.06)、島根県(2.78)、新潟県(2.25)である。**感染性胃腸炎**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は大分県(6.14)、宮崎県(5.28)、熊本県(4.64)である。**水痘**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は福井県(1.50)、佐賀県(1.39)、宮崎県(1.14)である。**手足口病**: 定点当たり報告数は増加した。都道府県別の上位3位は鹿児島県(2.04)、愛媛県(1.95)、佐賀県(1.83)である。**百日咳**: 定点当たり報告数は2週連続で増加した。都道府県別の上位3位は鳥取県(0.16)、青森県(0.07)、沖縄県(0.06)である。**ヘルパンギーナ**: 定点当たり報告数は第36週以降減少が続いている。都道府県別の上位3位は新潟県(1.49)、福島県(1.40)、宮城県(1.34)である。**マイコプラズマ肺炎**: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別の上位3位は富山県(1.40)、香川県(1.00)、長野県(0.64)である。**感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)**: 定点当たり報告数は増加した。3都道府県から4例報告があり、年齢別では10歳(2例)、1～4歳(2例)、10代(1例)であった。

\* 全国の指定された医療機関(小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)の集計結果です。( )内数字: 定点当たり報告数